

令和6年度畜産業振興事業の執行状況

(単位：百万円)

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
畜産業振興事業 (うち不用額の 大きい事業)		80,130	39,982 (16,425)	40,148	
1	畜産経営災害 等総合対策緊 急支援事業	3,280	1,508 (1,311)	1,772	本事業は、甚大な被害が生じた災害を対象災害として指定して、被災した畜舎の補改修や停電、断水への対応に対する支援を行う事業である。 令和6年度に対象災害に指定されたのは、「令和6年能登半島地震」及び「令和6年9月20日からの大雨」のみであり、いずれも畜産が盛んとはいえない地域での災害であったため不用額が発生したが、事業は適正に執行されており、問題はない。
2	食肉流通改善 合理化支援事 業	2,636	1,242 (-)	1,394	中小食肉卸売事業者に対する民間融資の円滑化を図るために債務保証を受けている事業者において、代位弁済を必要とする事案が少なかったためであり問題はない。
3	加工原料乳生 産者経営安定 対策事業	1,287	0 (-)	1,287	本事業は、当該年度の前年度の加工原料乳平均取引価格が補填基準価格（過去3年間の平均取引価格）を下回った場合に、生産者へ補填金（差額の8割）を交

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
					付する事業である。 令和6年度は、令和5年度の平均取引価格が補填基準価格を上回り、補填の発動がなかったことから不用が発生したものであり、問題はない。
4	国産畜産物利用安定化対策事業	2,983	2,013 (649)	970	脱脂粉乳の在庫低減支援について、需要の伸びにより飼料用途への仕向け量が想定を下回ったためであり問題はない。
5	肉用牛経営安定対策補完事業	2,436	1,540 (579)	896	飼料や資材の価格高騰等の影響による繁殖雌牛等の導入意欲の低下から、「地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業のうち遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保対策」及び「肉用牛流通促進対策事業」における申請頭数の減少があったためであって、事業としては適正に執行されており、問題はない。
6	養豚経営安定対策補完事業	1,232	434 (19)	798	飼料・資材価格の高騰による経営状況悪化や豚熱発生等により、種豚更新及び施設整備等を控えた事例や経口ワクチンの在庫状況を鑑み、輸入回数・数量が減ったため不用が発生したが、事業としては適正に執行されており問題はない。
7	肥育牛経営改善等緊急対策事業	2,083	1,396 (-)	686	本事業は令和4年度までの配合飼料価格安定制度の補填金財源に充てる借入を行った際に、利子相当額を

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
					助成する事業である。 金利の上昇を見込んだ必要額が措置されたが、金利上昇の影響が小さかったため不用が発生したものであり、事業は適正に執行されており問題はない。
8	畜産特別支援 資金融通事業	911	548 (45)	364	畜産経営体のセーフティネットとして措置されているものであり、代位弁済の件数が見込みより少なく、保証基盤に係る経費としての執行が少なくなったことによるものであり、問題はない。
9	堆肥舎等長寿 命化推進事業	222	40 (1)	183	本事業は、堆肥舎等を所有している畜産農家に対して堆肥舎等の補修の実証・簡易堆肥舎の整備等を支援する事業である。 堆肥舎等の補修の実証・簡易堆肥舎の整備については、景気低迷や資材高騰などの要因による堆肥舎等に対する投資意欲が減退するなどの外的要因により畜産農家からの要望が減少したことから、本事業における支援も低迷し不用が発生したが、事業は適正に執行されており問題はない。
10	国産畜産物安 心確保等支援 事業	542	370 (-)	172	本事業は、家畜個体識別システムの円滑な運用の確保や家畜伝染病の発生に備えた対応を支援する事業である。 このうち「家畜個体識別システム定着化事業」にお

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
					いて、耳標の購入経費について入札により調達した結果、当初予定よりも単価が抑えられた等によるものであり問題はない。
11	飼料価格高騰 対策事業	417	278 (-)	138	本事業は令和5年度以降の配合飼料価格安定制度の補填金財源に充てる借入を行った際に、利子相当額を助成する事業である。 金利の上昇を見込んだ必要額が措置されたが、金利上昇の影響が小さかったため不用が発生したものであり、事業は適正に執行されており問題はない。
12	畜産経営安定 化飼料緊急支 援事業	149	32 (2)	117	本事業は配合飼料工場の設備の廃棄・統合等による事業再編を支援する事業である。 令和6年度は新規の事業再編の申請がなかったことから不用が発生したものであり、事業は適正に執行されており問題はない。
13	畜産高度化推 進リース事業	119	5 (-)	114	本事業は、畜産環境対策リース事業の借受者が加入する保証保険に係る保険料相当額及び損害保険に係る保険料相当額を支援する事業である。 当該リース事業は、景気低迷や資材高騰などの要因による畜産環境に対する投資意欲が減退するなどの外的要因により貸付が低迷したことから、本事業における支援も低迷し不用が発生

区分		予算額	実績額 (うち予算 繰越額)	不用額	不用の主な要因
					したが、事業は適正に執行されており問題はない。

注 1：補助金ベース。

注 2：全体の予算額には、複数年度分として予算措置された次年度以降分の額を含む。

注 3：「不用額の大きい事業」は、複数年度分として予算措置された 2 事業 25,784 百万円を除く、執行率 80% 未満の事業。また、上記のほかに 6 事業で 2,718 百万円の不用額があったが、いずれの事業も要望に沿って適正に執行した結果、それぞれ執行率は 80% を上回っており、問題はなかった。

なお、和牛肉需要拡大緊急対策事業は、令和 5 年度補正事業及び令和 6 年度補正事業があり、それぞれ複数年度分として予算措置されている。令和 5 年度補正事業は執行率 80% を上回っている事業として、令和 6 年度補正事業は複数年度分として予算措置された事業としてそれぞれカウントとしている。

注 4：予算繰越を行った各事業の主な理由は、事業実施主体から間接補助事業者に対する補助金交付の一部が翌年度になったためである。

令和6年度における畜産関係の緊急対策について

物価高騰、畜産物在庫等の対策として、機構は以下のとおり、畜産業振興事業の一環として緊急支援対策を実施した。

《凡例、「新規（拡充）緊急対策：□」》

1 物価高騰対策について

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
1 □	和牛肉需要拡大緊急対策事業	・ 和牛肉の新規需要開拓等の取組、和牛肉の消費拡大・理解醸成の取組、インバウンドを主な対象としたツアー等を実施し和牛肉を提供する取組等について支援	令和5年度補正予算： 4,704,378 令和6年度補正予算： 16,953,111

2 畜産物の在庫対策について

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
1 □	バター・脱脂粉乳需給不均衡及び生乳流通改善緊急事業	・ バター・脱脂粉乳需給の不均衡を改善するための取組を行う生乳生産者団体に対し、対象数量に応じた奨励金を交付 ・ 物流2024年問題へ対応するため、農協等と連携して、集送乳経費の合理化に取り組む生乳生産者団体に対し、対象数量に応じた奨励金を交付	1,727,000
2	国産畜産物利用安定化対策事業	・ 脱脂粉乳の在庫低減、国産脱脂粉乳を活用した新商品の開発等に取り組む事業者を支援	2,982,990

3 その他緊急対策について

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
1	畜産経営災害等総合対策緊急支援事業	・ 自然災害等により被害を受けた畜産農家等の経営継続・再開に向けて、政府の方針と協調し、被災畜舎・機械の補改修、一時的な家畜の避難、家畜の再導入、代替粗飼料の共同購入、停電に備えた非常用電源の整備、感染症発生農場への代替要員の派遣、肉用子牛の計画出荷や家畜伝染病の発生農家への互助金の交付等を支援	3,280,000

	事業名	概要	予算額 (単位：千円)
2	肥育牛経営改善等 緊急対策事業	・ コロナ禍におけるウクライナ情勢に伴う物価高騰に対応するため、配合飼料価格安定制度の基本的な機能を維持し、補填金の交付に必要な資金に充てるために、融資機関から資金の借入れを行う場合に要する利子相当額について支援	2,082,858
3	国産乳製品等競争 力強化対策事業	・ 生乳生産者がチーズ向け生乳の品質向上のための取組を行った場合に、乳質基準を満たした生乳に対し奨励金を交付 ・ 国産チーズの需要創出等の計画を有する乳業メーカーのチーズ生産拡大を支援 ・ チーズ製造者における技術研修会、国際コンテスト等への参加、チーズの普及活動等の取組を支援	5,480,136
4 ☐	飼料価格高騰対策 事業	・ 配合飼料価格安定制度の通常価格差補填金の交付に必要な資金に充てるために融資機関から必要な資金の借入れを行う場合に要する利子相当額その他の必要な経費について支援	416,571
5 ☐	優良和子牛生産推 進緊急支援事業	・ 和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合に、優良な和子牛を生産するために、飼養管理向上のための取組を複数実施する和子牛生産者に対して、奨励金を交付	10,900,000
6 ☐	国産牛乳乳製品の 需要拡大・競争力 強化対策事業	・ 生乳生産者がチーズ向け生乳の品質向上のための取組を行った場合に、乳質基準を満たした生乳に対し奨励金を交付 ・ チーズ製造者における技術研修会、国際コンテスト等への参加、チーズの普及活動等の取組を支援 ・ 年末年始の不需要期の生乳需給の安定に万全を期するため、この期間に全乳哺育等により生乳の出荷調整に取り組んだ酪農経営体に対して奨励金を交付	9,000,000